

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)万代新洪川センター新築工事	階数	地上4F
建設地	東大阪市洪川3丁目	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	300 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年5月22日
敷地面積	4,449 m ²	作成者	株式会社 浅沼組一級建築士事務所
建築面積	2,831 m ²	確認日	2018年5月24日
延床面積	8,924 m ²	確認者	株式会社 浅沼組一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 67% ③上記+②以外の 67% ④上記+ 67%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.7</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>事務所については十分な照度があり、又、広い開口部によって豊かな通風を確保する事ができている。喫煙室についても非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取られるなど、従業員に配慮された設計がなされている</p>	<p>その他</p> <p>特に無し</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>開口部が広く十分に通風が確保できている F☆☆☆☆を全面的(床・壁・天井・天井裏の面積70%以上の面積)に採用 喫煙室において、非喫煙者が煙に曝されないような対策</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>配管について長寿命の材質を採用している 主要な内装仕上げ材について更新必要間隔が長い部材を採用。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特に無し</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明の採用</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型の水栓に加え、省水型の大便秘器など環境に配慮した器具を採用している。 ODP<0.01、GWP<50(100年値)を用いた断熱材等を使用</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率=67%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0020

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)万代新洪川センター新築工事
--------	------	-------------------

建設地	東大阪市洪川3丁目102番1、102番2、102番3、103番1、103番2の一部、104番2の一部
-----	--

用途/区分	事務所 工場
-------	--------

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+
--------	----------------	--	-----------

①	CO2削減		4
---	-------	--	----------

②	みどり・ヒート アイランド対策		2
---	--------------------	--	----------

③	建物の断熱性		5
---	--------	--	----------

④	エネルギー削減		5
---	---------	--	----------

⑤	自然エネルギー直接利用		—
---	-------------	--	----------

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.3	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		